

「フィールドサイエンスと地域創成」

富山大学学生によるCOC+地域連携研究事業趣旨

富山大学学生によるCOC+地域連携研究は、富山大学に在籍する学生が、富山県内の地方公共団体や企業等と連携して実施する研究である。これにより、学生が身近な課題を肌で感じ、日頃興味を持って取り組んでいる研究が、地域に貢献できる手応えと自信をこれまで以上に得て、引き続き地域で活躍する意欲を高め、COC+事業の目的である若者の地元定着率の向上を図ろうとするものである。

プロジェクト趣旨

フィールドワークは対象となる地域を直接観察し、地域の環境、文化、社会集団を深く理解しようとする試みである。地域外部の観察者が参加することにより、地域住民が普段気づかない資源や魅力を再発見し、理解する契機にもなる。そして、その資源や魅力を地域再生や資源保全活動につなげるにはどうすればよいか、フィールドサイエンスがその手がかりになる。このプロジェクトではそうした観察者と郷土人との間の相互作用を重視し、限界集落で開催するフィールドサイエンス座談会を通じて、学生、フィールドサイエンスに係わる研究者、限界集落の人々との間の協力により、フィールドサイエンスが地域創成にどのように貢献できるかを考える。

プロジェクト企画：ながたんフィールドサイエンス座談会

共催：NPO法人 大長谷村づくり協議会

実施日：2016年11月17日～11月18日

場所：大長谷ふるさとセンター

集合日時・場所

2016年11月17日（木）

12：15 富山大学経済学部1階極東地域研究センター事務室

12：30 富山大学正門 出発（貸し切り小型バス）

14：00 大長谷ふるさとセンター着

プログラム

11月17日（木）

14：30 ご挨拶 堀江 典生（富山大学極東地域研究センター）

14：45 企画・趣旨・個人研究成果説明

中野寧々（富山大学経済学部学生）

15：30 休憩

15：45 話題提供1

村上光進（NPO法人 大長谷村づくり協議会）

お題：「過疎地大長谷の変遷と存続を図るための取り組み」

16：30 インタビュー

「村で生きるということ、村でできること」

17：00 話題提供2

関 健次郎（公益財団法人かごしま環境未来財団）

17：45 しばし解散（お風呂休憩）

19：00 夜なべ談義

11月18日（金）

10：00 話題提供3 高橋 そよ（琉球大学）

10：45 話題提供4 本村 真（琉球大学）

11：30 総括討議：わたしたちに何ができるか

12：00 昼食（各自負担）

13：00 大長谷ふるさとセンター出発（貸し切りバス）

15：00 富山大学着 ～ 富山駅着

村のひとたちへの質問募集中！

夜なべ談義で村のひとたちに聞いてみたいことがあれば、下記連絡先までメールで事前にお寄せください。

会費

7,000円（宿泊、夕食、朝食込み）



中野寧々（代表：経済学部4年），内田実奈（経済学部4年），丸山正幸（経済学部4年），畑 龍人（経済学部4年），古川大督（経済学部3年），三橋秀平（経済学部3年）

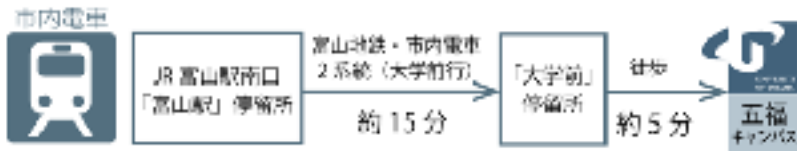
そのほかの参加者

山田 孝子（金沢星稜大学/京都大学名誉教授），関 健次郎（公益財団法人かごしま環境未来財団），高橋 そよ（琉球大学），本村 真（琉球大学），藤本 透子（国立民族学博物館），増田 和也（高知大学），趙 芙蓉（国立民族学博物館），村上光進（大長谷村づくり協議会代表），大長谷のみなさん

集合場所MAP

富山大学経済学部へは，富山駅より市内電車 大学前行きに乘るのが便利です。終点「大学前」で下車し，進行方向に向かって歩くと，富山大学正門にたどり着きます。

集合場所の極東地域研究センター事務室は，経済学部棟正面玄関を入り，すぐ右手にあります。



大長谷ふるさとセンター

〒939-2425 富山県富山市八尾町庵谷1
電話：076-458-1415

